

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2012-523907(P2012-523907A)

【公表日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-506058(P2012-506058)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2013.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月29日(2013.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

近位端と、遠位端と、近位端と遠位端の間に位置する本体内腔とを有する管状本体であって、本体移植片材料とこの本体移植片材料に結合させた複数ステントとを含む前記管状本体と、

前記管状本体から外方へ延出し、略截頭円錐形状をなし、前記管状本体に結合した基部と前記管状本体から離間する頂部と前記基部と前記頂部の間に位置する結合内腔とを含む可動外部継手であって、前記結合内腔が前記本体内腔と流体連通し、さらに該可動外部継手は結合移植片材料を含み、前記結合移植片材料が形状記憶材料を含む前記可動外部継手の長手方向軸に略平行に走る縦糸を有する織布である前記可動外部継手と、を備えている、

ことを特徴とする血管内補綴具。

【請求項2】

前記形状記憶材料はニッケルチタン合金である、

請求項1に記載の補綴具。

【請求項3】

前記縦糸は、熱可塑性樹脂糸と形状記憶材料の組み合わせから作成した合成糸である、請求項1又は2に記載の補綴具。

【請求項4】

前記縦糸を略横断して走る前記可動外部継手の縦糸は熱可塑性樹脂糸で作成される、

請求項1から3の何れか1項に記載の補綴具。

【請求項5】

前記縦糸の前記形状記憶材料は、前記可動外部継手を前記管状本体から離れるよう突出するよう直線状に焼鈍される、

請求項1から4の何れか1項に記載の補綴具。

【請求項6】

前記可動外部継手の頂部に配置したリングをさらに備える、

請求項1から5の何れか1項に記載の補綴具。

【請求項7】

前記可動外部継手の前記基部から前記頂部までの高さは10~15mmの範囲である、

請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の補綴具。

【請求項 8】

主補綴具と分岐補綴具の組立体であって、

請求項 1 から 7 の何れか 1 項に記載され、主血管に配置されるように構成された主補綴具と、

前記主血管から延出する分岐血管内に配置されるように構成された構成の分岐補綴具であって、前記可動外部継手の内面に当接する外面を含む分岐補綴具と、を備え、

前記可動外部継手の遠位端部が前記分岐補綴具の近位端部と重複する、主補綴具と分岐補綴具の組立体。

【請求項 9】

近位端と遠位端および前記近位端と遠位端の間に位置する本体内腔とを有する管状本体で、本体移植片材料とこの本体移植片材料に結合させた複数のステントとを含む前記管状本体と、

前記管状本体から外方へ延出し、略截頭円錐形状をなし、前記管状本体に結合した基部と前記管状本体から離間する頂部と前記基部と前記頂部の間に位置する結合内腔とを含み、該結合内腔が前記本体内腔と流体連通する可動外部継手で、略周方向に配置された複数のバンドを含み、該複数のバンドを弾性材料から形成した前記可動外部継手とを備える、ことを特徴とする血管内補綴具。

【請求項 10】

前記弾性材料は、スチレン イソブレン スチレンやスチレン ブタジエン スチレンやスチレン エチレン / ブチレン スチレンやあるいはスチレン - エチレン / プロピレン

スチレンを含むオレフィンコポリマー等のジブロックやトリブロックあるいはマルチブロックエラストマー性コポリマーと、ポリウレタン類とポリウレタンと、ポリアミド類とポリエーテル・ブロック・アミドと、ポリエステル類とポリエーテルエステルと、ほぼ 0 . 8 ~ 9 g / c c 未満の密度を有するシングルサイト触媒すなわちメタロセン触媒によるポリオレフィンとからなるグループから選択される、

請求項 9 に記載の補綴具。

【請求項 11】

可動外部継手の基部から頂部までの高さは、8 ~ 12 mm の範囲である、

請求項 9 に記載の補綴具。

【請求項 12】

主補綴具と分岐補綴具の組立体であって、

請求項 9 から 11 の何れか 1 項に記載され、主血管に配置されるように構成された主補綴具と、

前記主血管から延出する分岐血管内に配置されるように構成された構成の分岐補綴具であって、前記可動外部継手の内面に当接する外面を含む分岐補綴具と、を備え、

前記可動外部継手の遠位端部が前記分岐補綴具の近位端部と重複する、主補綴具と分岐補綴具の組立体。